

令和7年度 教 育 計 画 西条市立西条南中学校						学校番号 22	
校長名	宇野 嘉則	学級数	15 (4)	児 童 生徒数	383	教職員数	32.5

校訓 自立自存

学校の教育目標
夢を語れる生徒の育成

めざす生徒像

思いを語る生徒
(信頼感・表現力・思考力)

夢をもつ生徒
(好奇心・幅広い経験・探求心)

自信をもつ生徒
(自己肯定感・達成感・判断力)

鍛える場としての学校

- 自ら考え、判断し、行動する力の育成
- 基本的生活習慣の確立
(時間、礼儀、場を整える)
- 主体的で協働的な学びの推進
(ICTを活用した「学びあい学習」の実践)
- 確かな学力の定着と向上
(わかる・できる・楽しい授業展開と家庭学習の充実)
- 言葉や情報の活用能力の育成

個性を伸ばす場としての学校

- 話し合い活動の重視
(表現力の育成)
- 自治活動の促進
(行事、生徒会活動の活性化)
- 多様性を受け止め、他を尊重する資質の養成『敬 愛 信』
(人権・同和教育・特別支援教育の充実)
- 体験活動の重視

安全・安心して過ごせる集団づくり
(つながり支え合う仲間づくり)

「普段着日本一の学校」 人として生徒として当たり前のことが当たり前のできる学校

チーム西条南中

(つなぎ・つながる－生徒・教職員・保護者・地域・関係機関)

重点目標	1 教育内容及び教育方法の改善と充実 (1) ICTを活用した学び合い学習を推進した授業改善に努める。 (2) 子ども同士の学び合いを重視し、分かる・考える・伸びる授業を展開する。 (3) 基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。 2 生徒指導の充実 (1) 生徒理解に努めながら、全教職員が一致協力して生徒、保護者との信頼関係を築き、「自分で考え、判断し、行動できる」生徒の育成に努める。 (2) いじめ、不登校問題等への組織的な対応とサポートルームの充実を図る。 (3) 多様な進路を視野に、生徒の思いや願いが叶う、自立を目指した進路指導の充実を図る。 3 人権・同和教育の充実 (1) 全教育活動の中で人間尊重の精神を養うとともに、多様性を受け止め、他者を尊重する資質を養う。 (2) 生徒と共に差別をなくす立場に立つ授業実践を行う。 4 特別支援教育の推進 (1) 将来社会人として生きていく上で必要な資質・能力を身に付け、学校や職場に適切に対応して充実した生活を営むことができる生徒の育成に努める。 (2) 全教職員の正しい理解と認識を深め、教師間の連携に努め、生徒を支援する指導の工夫改善に努める。 5 家庭・地域との連携 (1) 家庭や地域と連携し、信頼関係に基づいた開かれた学校づくりに努める。 (2) 関係機関と連携し、外部人材を積極的に活用した活動の充実を図る。
管理運営	1 人的管理 (1) 風通しの良い、教職員が育つ、働きがいのある職場づくりに努める。 (2) 業務のスリム化を図るとともに、多様な働き方を奨励する。 (3) 服務規律の遵守と不祥事の根絶に努める。 2 物的管理 (1) 潜在的危険箇所の除去及び安全点検の徹底に努める。 (2) 施設、備品等の計画的な整備に努める。 (3) 教育環境の美化と整備に努める。 3 事務管理 (1) 学校事務の共同実施による事務処理の適正化・効率化・標準化に努める。 (2) 個人情報や文書、金銭等の適正な取扱いと管理を徹底する。 (3) 迅速かつ適正な事務処理と厳正な管理を徹底する。
本校教育の特色	本校は、歴史的、地理的に古くから西条の地の中核的な存在の地域にあり、ふるさと西条の象徴的な地域である。学校行事には「歩くぞ28km」があり、春の恒例行事となっている。文化祭では、生徒による人権啓発劇が上演され、様々な人権問題に対する学習を深めている。また、食育と関連させ、生徒が自分自身で弁当を作る「手づくり弁当の日」を実施している。 歴史と伝統を継承、発展させるとともに、学校と家庭や地域、関係機関と連携し、喜びと感動のある教育活動を展開していく。